

キャリアプロジェクト啓

Kei だより

2023

佐野東高校では、3年間を通して「キャリアプロジェクト啓」に取り組みます。

まず、今年度の1学年の取り組みを紹介します。

◆佐野市の課題を知り、高校生としてできる取り組みを考えます。課題を設定し研究を重ねていく際の着眼点やプロセスについて学ぶことがねらいです。

◆5月12日（金）7限



佐野市役所総合政策部の小関満様、宇都宮大学地域デザイン科学部准教授石井大朗先生より、佐野市の現状や探究活動の課題のを見つけ方や協働の仕方についてお話しいただきました。

2 学年 Kei 出前授業

◆課題のテーマ設定に向けて、大学や企業の研究内容や業務内容を知ること、自分の興味関心を整理します。また、SDGs にも関連づけることで視野を広げ、地域社会の一員としてできる取り組みを考え、自らの進路選択につなげていきます。

◆5月から7月にかけて、12名の講師の先生をお招きし、分野ごとに出席授業を行いました。一人あたり2講座以上を受講し、7月末には進路や興味関心に応じてゼミを選択します。出席授業は、研究テーマ設定の手がかりとなりました。



「キャリアプロジェクト啓」とは？

佐野東高校では、「キャリアプロジェクト啓」と称する探究型キャリア教育に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自身の適性や興味関心に応じて、課題を設定し研究を重ねることで、キャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力の育成を目指しています。大学や企業等との連携や協働により、自ら設定した課題をより深めるとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自己実現を図ることをねらいとしています。特に「総合的な探究の時間」での一連の活動を“Kei”と呼び、3年間を通じて自分自身の進路に向き合います。

2 学年 Kei 出席授業 講師一覧

分 野	講 師	実施日
機械	足利大学工学部 松下政裕 教授	6/23
自然科学	足利大学工学部 加治屋大介 教授	6/23
電気電子	カワサキロボットサービス インバウンド推進課 長濱愛也氏	6/2
医療	足利大学看護学部 宮武陽子 講師	7/7
栄養	佐野日本大学短期大学栄養士フィールド 藤田睦 教授	6/2
こども	佐野日本大学短期大学こどもフィールド 秋山真奈美 准教授	6/2
教育	宇都宮大学共同教育学部 田村岳充 助教	7/7
	宇都宮大学共同教育学部 宮代こずる 助教	7/7
	宇都宮大学共同教育学部 石井幸司 助教	7/7
まち	宇都宮大学地域デザイン科学部 石井大朗 准教授	5/12
	佐野市役所総合政策部 関口俊治 氏	6/23
国際	JICA 栃木デスク 田島繁樹 氏	6/23

◆今後2年生はゼミ（10分野）に所属し、各自がSDGsに関連したテーマについて研究を進めます。大学や企業、施設等における実地研修等により研究を深めます。その他、先行研究調査やアンケート、インタビュー、実験等により情報の収集や仮説の検証を行っていきます。

今後の1年生の活動内容です。

◆佐野市の活性化のために高校生としてできる取り組みを考え、提案します。探究の過程において、様々な職業や学問を知り、文理選択の一助とします。

①佐野市について調べる。

②地方創生の事例を調べる。SDGs にも関連づける。

③アンケートやインタビュー等により情報を収集し、現状を把握・分析する。

④佐野市の活性化のための具体的な「シティブロモーション」を提案する。

⑤中間発表として学校祭においてクラス単位による展示発表を行う。

2 学年 Kei 出前授業 生徒の感想

【まち】●学生でも行動を起こして仲間と一緒に作業することでまちに大きな影響を与えることが出来ると感じた。●地域にあるそれぞれの課題は、何か工夫をすれば、場合によっては人の楽しめるような場所に改善できると思った。●佐野市にはどのような課題があるのかを少しずつ考えていこうと思った。【電気電子】●人にしかできないこと、ロボットに任せられる作業をよく考え、頼るのではなく共存することを重視したいと思った。●少子高齢化によって労働可能人口が減ってきていることをロボットによって解決できる。ロボットのメリットは人件費のコスト削減、生産性の向上などがあり今後はロボットとの共存する社会になっていくと考えられる。●ロボットによって解決できるまちの課題を調べてみたいと思った。【栄養】●研究をする時に、様々な調査の仕方があることや、参考文献をきちんと記載することが分かった。今回の食品ロスなどの身近な SDGs に気付き、自分に出来ることはやっていこうと思った。●栃木県で何気なく食べていた「しもつかれ」は、処分する寸前の食べ物などを使ってできたため SDGs にも繋がっていると感じた。●地域特有の料理を次世代に繋げるため地域の料理についてもっと知りたいと思った。【こども】●子どもだけでなく保護者もサポートできるように子育てしやすい環境作りにつとめたいと思った。●地域の制度やサービスを知らない人が多いことが課題だと思った。●日々の生活の中から得られるものがないか、普段からやっていることは無駄な事ではないということを頭に入れて生活したい。【機械】●今後エネルギーをどう生みどう使うか、考えなければならない。●再生可能エネルギーなどを使用することによる CO2 の削減などに取り組んでみたい。●工学

部の分野は日本や世界の未来を背負っていて、今後もっと大切になっていくと感じたので、その一員になりたい。【自然科学】●化学反応や実験を通して今の日本の環境に役に立つものはないか探してみたい。●色々な視点から物事を見ることによって見つけられることがたくさんあるかもしれないと思った。●身近なものの実験、化学で習ったものを使った実験など今学んでいることが役に立つと思い、より力を入れて勉強を頑張るべきだと感じた。【国際】●世界中の多くの人が解決を必要としている問題について深く考えて、解決策を提案したい。●海外で活動する際、英語力だけではなく考える力やコミュニケーション能力が必要だと気づいた。●現地の人とコミュニケーションをとることはとても大切なことで、その情報をもとに思考し、試行することで課題解決に繋がると気づいた。【医療】●チーム医療に大切なものはコミュニケーションである。医師、看護師、理学療法士など、それぞれ立場が違うと考え方も変わるので、それを共有するためにコミュニケーションが大切であることがわかった。●医療は相手の健康を守ることだが、まずは自己理解を深めることが大切だと思った。自分のネガティブなところを理解すると他の人にも優しくできるので、これからも実践していきたい。【教育】●先生ほど夢を語れる職業はない。●自分のやりたいことに惜しみなく努力すること。とりえずチャレンジしてみることが大切。●人との関わりを大切にすること。●気になった大学は偏差値を気にするよりも、学部学科が自分のやりたいことと近いかどうかで調べてみる。●今後、自分の進路実現に向けて、大学で何を学びたいのか改めて考えたい。

◆ 3 年生は進路の実現に向けて、研究テーマに関する知識や自分の考えを表現できることを目指していきます。

- ① 1・2 年次の研究を深める。各自研究室訪問や講座への参加。⇒夏休みには、オープンキャンパスへの参加や夢ナビ動画視聴を行いましょう。また、各種講座の案内が来ています。積極的に参加してください。
 - ② 志望理由書や小論文の書き方を学び、表現する力を身につける。⇒ 4 月より取り組み、5 月末にテスト、7 月にガイダンスを実施。
 - ③ 希望する大学等の入試形態やアドミッションポリシーを研究する。⇒ 6 月 2 3 日（金）ベネッセコーポレーションより本多志帆先生をお招きし、進路を見通したデータの見方や目標の持ち方について、分析データをもとにお話しいただきました。
 - ④ 実際の入試を想定し、自分自身や研究内容について、自分の言葉で発表する。
⇒ 6 月 2 日（金）ライセンスアカデミー講師の高野亜希子先生をお招きし、「面接・礼法指導」を実施しました。
 - ⑤ 志望理由書や小論文、ディスカッション、ディベートやプレゼンテーションの実践により、希望する進路の実現を目指す。
- ◆ 進路プレゼンテーションを実施します。⇒夏休みの三者面談で、進路実現に向けての決意表明をしてもらいます。



1 学年 職業・学問の扉をひらく

学びに向かう力 自己肯定力
共感力

0 期（1 年次 4～5 月）

◆佐野市役所・
宇都宮大学の講話

Kei スタート!!

2 学年 将来設計図を描く

学びを継続する力 将来設計力
課題発見・探究力

3 期（2 年次 4～8 月）

◆ Kei 出前授業

3 学年 進路実現に向け行動する

学びを活用・共有する力
行動力 コミュニケーション力

完成期（3 年次）

◆入試形態・アドミッションポリシー研究
◆小論文講座

一日大学（6 月） 1 年：大学の学び知る 2 年：学問を深める 3 年：志望校決定につなげる

1 期（1 年次 6～9 月）

◆佐野市の活性化のために高校生としてできる取組を考え、提案する。

◆学校祭における中間発表

2 期（1 年次 10～3 月）

◆大学・企業訪問（県外）

① 大学企業訪問の目的と意義を確認し、インタビューの内容を考える等訪問時の準備をする。

② 大学・企業訪問で得られた情報や気づいた点を整理する。

③ グループディスカッションを行い意見やアイデアを共有する。

④ 大学・企業訪問で得た情報を分析し、1 期の内容を深化させ、発表する。

◆ Kei 発表会

◆ゼミの決定（7 月）

◆テーマの決定（7～8 月）

（夏休み）オープンキャンパス参加、夢ナビ視聴、各種講座・体験活動への参加

4 期（2 年次 9～11 月）

◆ Kei 実地研修

2 年理型
理科実験教室

5 期（2 年次 12～3 月）

◆テーマに関する情報を整理・分析し、自分の考えを発信する。

① 図や表を用いて、ポスターにまとめる。

② 聞き手に伝わる表現を工夫し、ポスター発表を行う。

◆ Kei 発表会

1, 2 年生全員が発表後、代表者による発表会を実施

◆三者面談における進路プレゼンテーション

Kei 集大成！
進路への決意を語る

◆入試対策①（学校推薦型・総合型）

面接・グループディスカッション対策
志望理由書・小論文対策

◆入試対策②（一般選抜）

入試研究
受験スケジュール作成

Kei 3 年間の流れ

🗨️ おわりに ◆他学年の状況を知ることで、1 年後、2 年後の自分がどのように行動するべきかを知ってもらいたいと思い、この「Kei だより」を発行することにしました。自分自身の活動を振り返りつつ、進路への向き合い方を考えるきっかけとしてもらいたいと思います。また、活動後のみなさんの感想を共有することが、次の活動のブラッシュアップにつながると考えています。ぜひじっくりと読んでみてください。◆「総合的な探究の時間」の活動の通称は「Kei」です。佐東高の取り組みを保護者や地域の方々にも認知してもらうために、積極的に使ってください。（文責 早川）